

令和6年度「障害者週間」関連行事(予定)【関係機関・団体 主催行事】

【関係機関・団体 主催行事】

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)		行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先
01	金融庁	一般社団法人電子 決済等代行業者 協会	金融サービスにおけるウェブアクセ シビリティ勉強会	2024年4月から事業者等による障がい者への合理的配慮が義務化されたことを受け、社会全体でより一層アクセシビリティ推進に取り組んでいくことを目指して、以下のような目的で開催します。 ■ (特に金融サービスにおける)ウェブアクセシビリティ概念についての理解を深める。 ■ ウェブアクセシビリティに関する実際の取り組み方法や事例を知る。	未定	未定	○		
02	金融庁	(株)ゆうちょ銀行	障がい者アーティスト作品展示会	障がい者アーティストに作品発表の機会を提供することを目的に、多くの人が足を運びやすい東京駅前で障がい者アーティストの絵画作品展示会を開催。	令和6年11月8日(金)～令和7年1 月7日(火)(予定)	KITTE丸の内B1階 ショーケース	○	(参考:昨年度実績) <a href="https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/social/community/connection/">https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/social/community/connection/</a>	株式会社ゆうちょ銀行 広報部 TEL:03-3477-0111 (日本郵政グループ代表)
03	金融庁	(株)ゆうちょ銀行	障がい者アーティスト作品をデザイ ンしたPE袋の配布	障がい者アーティストに作品発表の機会を提供することを目的に、障がい者アーティストの作品をデザインしたPE袋(環境に優しいバイオマス素材使用)を作成し、全国のゆうちょ銀行直営店で配布。	令和6年8月～無くなり次第終了	(株)ゆうちょ銀行 直営店(全国)	○	(参考:昨年度実績) <a href="https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/social/community/connection/">https://www.jp-bank.japanpost.jp/sustainability/social/community/connection/</a>	株式会社ゆうちょ銀行 広報部 TEL:03-3477-0111 (日本郵政グループ代表)
04	外務省	独立行政法人国際 協力機構	ユニバーサルスポーツフェスティバ ル2024	ユニバーサルスポーツは、年齢、性別、障害の有無などに関係なく、すべての人々が平等に参加できるスポーツである。本フェスティバルでは参加者全員が様々な違いを超えて「ユニバーサルスポーツ」を楽しく体験することを通じ、インクルーシブな地域社会作りへ貢献する。(競技内容:風船バレー、卓球バレー、ボッチャ)	2024年11月10日(日) 13時30分から16時30分	JICA東京 体育館	○		独立行政法人国際協力機構 JICA東京 市民参加協力第二課 TEL:03-3485-7109
05	外務省	独立行政法人国際 協力機構	ユニバーサルスポーツフェスティバ ル2024 in CHIBA	ユニバーサルスポーツは、年齢、性別、障害の有無などに関係なく、すべての人々が平等に参加できるスポーツである。本フェスティバルでは参加者全員が様々な違いを超えて「ユニバーサルスポーツ」を楽しく体験することを通じ、インクルーシブな地域社会作りへ貢献する。(競技内容:風船バレー、卓球バレー、ボッチャ)	2024年7月14日(日) 14時00分から17時00分	千葉市子ども交流館	○		独立行政法人国際協力機構 JICA東京 千葉デスク TEL:043-297-0245

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)		行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先
06	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2024年10月25日(金)	JICAコスタリカ支所	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660
07	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2024年10月29日(火)	JICAメキシコ事務所	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660
08	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2024年10月31日(木)	JICAドミニカ共和国事務所	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660
09	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2024年12月4日(水)	JICAパラグアイ事務所	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660
10	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2024年12月17日(火) 13時00分から15時00分	JICA本部	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660
11	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修(DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2025年2月(日時未定)	JICA本部	×		独立行政法人国際協力機構 人間開発部 高等教育・社会保障 グループ 社会保障チーム TEL:03-5226-6660

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先
12	外務省	独立行政法人国際 協力機構	障害平等研修 (DET)	組織内の障害主流化のため、障害者差別や排除の状況を分析し、参加者自身がそれを変えていく行動の主体となることを目的とした研修を実施する。	2025年2月20日(木) 14時00分から17時00分	JICA東京	×	独立行政法人国際協力機構 JICA東京 総務課 TEL:03-3485-7051
13	財務省	日本たばこ産業株 式会社	従業員を対象とした講演会	障がいをもった当事者である外部講師による講演会を本社30階イベントスペースで開催。従業員が障がい・障がい者について学ぶ・理解を深める、お互いを認め合うコミュニケーションを進める為の機会を提供している。	令和6年12月5日(木)18:00~19:00	日本たばこ産業株式会社 本社	×	日本たばこ産業株式会社 人事部 TEL:03-6636-2914 FAX:03-6772-0487
14	財務省	日本たばこ産業株 式会社	従業員を対象としたライブペ インティング	外部の障がい者異彩作家によるライブペインティングを本社30階イベントスペースで開催。作家と従業員の交流を通して、従業員が障がいについて考える機会を作る。出来上がったアートは社員食堂の壁に提示し、そのアートを見て再び社員がインスピレーションのバトンを受け取ることを狙いとしている。	令和6年12月3日(火)~6日(金) (日)	日本たばこ産業株式会社 本社	×	日本たばこ産業株式会社 人事部 TEL:03-6636-2914 FAX:03-6772-0487
15	文化庁	京都新聞 (文化庁と共催)	「CONNECT <sup>2</sup> ~アートでのびの びひろがるわたし~」	アートを通して、多様性や共生社会のありかたについて、障害のある方もない方も共に考え、語り合い、実践するプロジェクトである。12月の「障害者週間(3日~9日)」に合わせて、京都国立近代美術館など京都市岡崎公園内の文化施設において、様々な文化芸術プログラムを実施する。	2024年11月29日(金)~12月15日 (日)	京都国立近代美術館、京都市 京セラ美術館、京都府立図 書館、ロームシアター京都、 京都市動物園、京都市勤業 館「みやこめっせ」、京都市美 術館別館	○	<a href="https://connect-art.jp/">https://connect-art.jp/</a>  文化庁 参事官(生活文化創造担当)付 TEL:075-451-9571 FAX:075-451-9589  「CONNECT <sup>2</sup> 」事務局 京都新聞 COM TEL:075-255-9757 FAX:075-255-9763
16	文部科学省	独立行政法人日本 学生支援機構	障害者差別解消法に関する理解・ 啓発セミナー(基礎編)	令和6(2024)年4月1日「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となる。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援の底上げを目的とする。 本セミナーの基礎編は、障害者差別解消法に関する基本的事項の理解・啓発を中心としたプログラムで実施する。 対象は、高等教育機関(国公立大学、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程))の全教職員向けで、障害者差別解消法に関する基本的事項について学ぶ内容となっている。具体的には、用語解説と紛争の防止・解決等の事例に関する解説を交えた各10分程度の動画配信で、学内の教職員向け研修などでも、活用いただける内容となっている。	配信開始: 令和5年10月10日(火)13:00~	オンライン(オンデマンド配 信)	○	<a href="https://www.jasso.go.jp/gakusei/to-kubetsu_shien/event/sabetsukaisho/2024.html">https://www.jasso.go.jp/gakusei/to-kubetsu_shien/event/sabetsukaisho/2024.html</a>  独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL:03-5520-6173 FAX:03-5520-6051
17	文部科学省	独立行政法人日本 学生支援機構	令和6年度障害者差別解消法に関 する理解・啓発セミナー(実践編)	令和6(2024)年4月1日「改正障害者差別解消法」施行に伴い、民間事業者へも合理的配慮の提供が法的義務となる。本セミナーは、高等教育機関全体で同法の合理的配慮の提供について理解を深め、障害学生・生徒支援の底上げを目的とする。 本セミナーの実践編は、基礎編の内容を前提として、専修学校(専門課程)、大学、短期大学、高等専門学校の教職員を対象として定員を50名程度で、紛争の防止・解決等の事例に関するグループディスカッションを中心とした対面でのセミナーを実施する。	令和6年12月17日(火) 10:00~16:30	東京国際交流館 プラザ平成 (東京都江東区青海2-2-1)	×	<a href="https://www.jasso.go.jp/gakusei/to-kubetsu_shien/event/sabetsukaisho/2024.html">https://www.jasso.go.jp/gakusei/to-kubetsu_shien/event/sabetsukaisho/2024.html</a>  独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課 障害学生支援計画係 TEL:03-5520-6173 FAX:03-5520-6051

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先	
18	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和6年度研究所公開	国立特別支援教育総合研究所(特総研)を一般開放する研究所公開を開催する。特総研の研究内容を紹介するほか、体験型の展示を通じて特別支援教育や障害への理解を深めていただくことができる。	令和6年11月9日(土)10:00~15:30	国立特別支援教育総合研究所(神奈川県横須賀市野比)	○	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release">https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課広報係 TEL:046-839-6803
19	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和6年度特別支援教育推進セミナー	特総研は、地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等及び大学と連携を図りながら、インクルーシブ教育システム構築に向け、特別支援教育推進セミナーを開催する。 本セミナーでは、昨今の教育課題に対応した特別支援教育に関する講義や、実践発表、研究協議を行う。全国を6ブロック(北海道・東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国・四国ブロック、九州ブロック)に分け、参加者はブロック内の他の自治体や学校の参加者と交流を図ることで、新たな視点や知見を広げる機会としていただける。 令和6年度は、近畿ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロックを対象に開催しており、このうち、関東甲信越ブロックを11月、東海北陸ブロックを12月に開催する。  対象: 関東甲信越ブロック(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県)の教育関係者、福祉関係者、保護者等 東海北陸ブロック(富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)の教育関係者、福祉関係者、保護者等	【関東甲信越ブロック】令和6年11月29日(金)13:00~17:00  【東海北陸ブロック】令和6年12月24日(火)13:00~17:00	オンライン	○	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/snep-seminar">https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/snep-seminar</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 総務部総務企画課広報係 TEL:046-839-6803
20	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	令和6年度盲ろう教育実践セミナー	盲ろう教育の基礎・基本的な内容や、最新の知見、具体的な指導実践等を提供する場として本セミナーを開催する。  対象: 盲ろう幼児児童生徒の教育・療育等に関わっている、あるいは盲ろう教育に興味・関心のある教職員等	令和6年12月26日(木)10:00~12:00	オンライン	○	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/study/ot_hers/disability_list/multiple/seminar">https://www.nise.go.jp/nc/study/ot_hers/disability_list/multiple/seminar</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 重複班 令和6年度盲ろう教育実践セミナー担当 TEL:046-839-6803
21	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	第4回「知的障害教育における学習評価に関する研究」成果普及セミナー	本セミナーでは、知的障害教育特別支援学級における指導と評価の一体化の実現を目的に、実践報告や、関連する知見の紹介を通して、単元計画作成と学習評価の方法に関する知見を提供する。	令和6年12月26日(木)13:00~16:30	オンライン	○	<a href="https://www.nise.go.jp/nc/study/ot_hers/disability_list/intellectual/r6seminar">https://www.nise.go.jp/nc/study/ot_hers/disability_list/intellectual/r6seminar</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 知的班 TEL:046-839-6803
22	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	発達障害教育基礎セミナー	テーマ:「通常の学級における発達障害のある子どもへの支援と環境づくり」 趣旨・目的: 発達障害のある児童生徒の多くは通常の学級に在籍しており、通常の学級においても個々の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援が行われることが求められている。本研究発達障害教育推進センターでは、発達障害のある児童生徒に関わる有識者、学校関係者等による「発達障害教育の情報提供等にかかる検討会議」を設置し、通常の学級における発達障害教育の現状と課題を把握するとともに、ウェブを活用した情報提供等に向けた取組を行っている。 その一環として本研修会を開催し、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対する指導・支援について、検討会議の委員である信州大学医学部教授 本田秀夫氏より医師の立場からの知見を提供いただくことで、発達障害教育の充実を図ることを目的としている。	令和6年10月1日(火)~令和6年12月20日(金)	オンライン(オンデマンド)	○	<a href="https://cpedd.nise.go.jp/r6kseminar">https://cpedd.nise.go.jp/r6kseminar</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター TEL:046-839-6803

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内 容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問 合 先	
23	文部科学省	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所	発達障害教育実践セミナー	「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議報告」(令和4年3月)では、小中学校等の通常の学級で指導にあたる教師にも、特別支援教育の理解や専門性が求められていることが示された。本セミナーでは、都道府県教育委員会や政令指定都市教育委員会の事務局(指導主事等)を対象に、「通常の学級における発達障害教育の充実に向けた展望と人材育成」について検討する。	令和7年1月30日(木) 9:30~15:30	オンライン(ライブ及びオンデマンド)	×	<a href="https://cpedd.nise.go.jp/r6hseminar">https://cpedd.nise.go.jp/r6hseminar</a>	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター TEL:046-839-6803
24	厚生労働省	公益財団法人テクノエイド協会	障害者自立支援機器「シーズ・ニーズマッチング交流会2024」	障害者福祉の現場において、真に必要とされる実用的な支援機器の開発・実用化を支援する一環として、開発の早い段階から障害者や支援者の「ニーズ(課題や要望)」と企業や研究者等の「シーズ(技術)」のマッチングを強化する。	①Web開催:令和6年10月1日~令和7年1月31日 ②大阪会場:令和6年11月25日、26日、27日 ③東京会場:令和6年12月10日、11日、12日	②大阪会場:OMMホール2階展示Aホール ③東京会場:東京都立産業貿易センター浜松町館5階展示室	○	<a href="https://www.techno-aids.or.jp/2024koryukai/web/hall/cms/#tab40_detail">https://www.techno-aids.or.jp/2024koryukai/web/hall/cms/#tab40_detail</a>	公益財団法人テクノエイド協会 企画部 TEL:03-3266-6883 FAX:03-3266-6885
25	農林水産省	一般社団法人 日本農福連携協会	農福連携全国フォーラム2024 in ちば	農福連携の更なる推進と充実を図るため、これまでの農福連携の取組を振り返り、現在行われている先駆的な取組を踏まえて、農福連携の取組の横展開とこれからの農福連携について考えるフォーラムを開催する。	・フォーラム 日時:令和6年11月2日(土) 10:00~17:30(開場9:15) ・スタディツアー 日時:令和6年11月3日(日) 9:00~13:30 ・農福マルシェ 日時:令和6年11月2日(土)及び3日(日)10:00~16:00	・フォーラム 株式会社 千葉銀行本店の3階大ホール(千葉県千葉市中央区千葉港1-2) ・スタディツアー 特定非営利活動法人 一粒舎(千葉県木更津市真里谷4832) ・農福マルシェ 株式会社 千葉銀行本店ビル前の国道上部空間(千葉市、千葉商工会議所等による「千葉湊大漁まつり」(会場:千葉ポートパーク)に併せて開催される千葉国道事務所、千葉市及び株式会社 千葉銀行による「STAY STREET」の中で実施)	○	<a href="https://noufuku.or.jp/%E8%BE%B2%E7%A6%8F%E9%80%A3%E6%90%BA%E5%85%A8%E5%9B%BD%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%A02024-in-%E3%81%A1%E3%81%B0%E3%81%AE%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/">https://noufuku.or.jp/%E8%BE%B2%E7%A6%8F%E9%80%A3%E6%90%BA%E5%85%A8%E5%9B%BD%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A9%E3%83%A02024-in-%E3%81%A1%E3%81%B0%E3%81%AE%E9%96%8B%E5%82%AC%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/</a>	一般社団法人 日本農福連携協会 TEL:03-6272-8839 FAX:03-6272-8839
26	農林水産省	農福連携等応援コンソーシアム	「ノウフクの日」設定記念イベント	「農福連携を通じたサステナブルな食と地域の実現」をテーマに、企業が農福連携について関心を持ち、行動を起こすようなきっかけづくりとなるセミナーを実施する。	令和6年12月2日(月)11:00~17:00	SHIBUYA QWSスクランブルホール	○		一般社団法人 日本農福連携協会 TEL:03-6272-8839 FAX:03-6272-8839
27	農林水産省	農福連携等応援コンソーシアム	ノウフク・アワード2024表彰式	全国で農福連携に取り組む団体・企業や個人を募集し、農福連携の優れた取組をノウフク・アワードとして表彰。国民運動としての機運を高め、農福連携の全国的な展開につなげることを目的として今年度の受賞者に対する表彰式を開催する。	令和7年1月22日(水)	三田共用会議所	×	<a href="https://noufuku.jp/award/?archive=1">https://noufuku.jp/award/?archive=1</a>	一般社団法人 日本基金 TEL:03-5295-0070

NO.	省庁名 (所管省庁/主催機関・団体)	行事・取組名称	内容	開催期間 <開催時刻>	開催場所	一般参加 の可否	WEB情報	問合せ先	
28	農林水産省	一般社団法人 ぶどうの木	2025 ノウフクフェスタ@上野公園	農福連携の認知の向上、および取り組みの輪を広げるきっかけの場として開催。 ①農福連携の取り組み紹介 ②ノウフクマルシェブースの設置 ③ノウフク食堂の開設	令和7年1月25日～令和7年1月26日	上野公園	○	<a href="http://truevine.jp/topics_details.php?info_id=50">http://truevine.jp/topics_details.php?info_id=50</a>	一般社団法人 ぶどうの木 TEL:047-489-5503
29	農林水産省	公益財団法人日本農林漁業振興会	令和6年度(第63回)農林水産祭「実りのフェスティバル」	農林水産業と食に対する理解の増進と農林水産物の消費拡大等に資するため、都道府県、農林水産関係団体等の協力を得て、農林水産業啓発展及び地域農林水産展を開催するもの。「農林水産関係団体コーナー」において、農福連携の取組に関する展示を行う。	令和6年11月1日(金)10:00～17:00 令和6年11月2日(土)10:00～16:00	東京都豊島区東池袋 サンシャインシティ ワールドインポートマーケットビル 4F(展示ホールA)	○	<a href="http://www.affskk.jp/sub4.html">http://www.affskk.jp/sub4.html</a>	公益財団法人日本農林漁業振興会 TEL:03-6441-0791
30	経済産業省	一般社団法人日本スイミングクラブ協会	グリコチャレンジスイム2024 第14回JSCA全国知的障害者水泳競技大会	知的障害者スポーツの振興・普及活動、及び知的障害者の水泳競技における練習成果発表の場の提供を目的とし、水泳競技大会を開催	令和6年12月15日(日)	長野県 長野運動公園総合運動場総合市民プール(アクアウイング)	○	<a href="https://www.sc-net.or.jp/info/race/3398/">https://www.sc-net.or.jp/info/race/3398/</a>	一般社団法人日本スイミングクラブ協会 事務局 TEL:03-6381-0750 FAX:03-6381-0752